

こんにちは、こんにちは ファイルNo.2

今回は、本紙の名称にも使われている「こんにちは」という言葉についての調査報告です。正しくは「こんにちわ」であることはご存知でしょうが、少し寄り道をしてから考えてみましょう。

◎接着剤「ていをは」

膠着とは、くっついて離れないこと、物事が一つの状態を長期間保っていて変化しないこと。「試合は膠着状態だ」という風に使われます。膠着の「膠」はニカワ。ニカワは動物性の接着剤で古くから利用されてきました。ニカワがベタベタとくっつくように物事が進展しないのが膠着です。

日本語は「膠着語」といわれます。接着剤でくっつけて文章ができていくのです。難しい説明だと「膠着語に分類される言語は、単語に接頭辞や接尾辞のような形態素を付着させ、その単語の文中での文法関係を示すという特徴を持つ」となります。接頭辞の例は軽自動車の「軽」、接尾辞の例は圧倒的の「的」ですが、接頭辞・接尾辞は英語などにもあります。日本語の接着剤としては「ていをは」という

助詞を挙げるほうがよいでしょう。

それ見せへて、そこへ置く、本へを読む、私へは男だ。これが「ていをは」です。日本語の文章が下手だと「ていをは」ができていないと言われるてしまいます。

英語にも日本語の助詞に当たるようなものがありますが、基本的には語順によって文章が成り立ちます。アイ・ラブ・ユーには助詞がありませんが、主語・述語・目的語の語順で意味が通じます。スプリング・ハズ・カムは「バネ持って来い」ではなく「春が来た」なのです。

◎ちわー

さて本題です。本紙の名称に使われている「こんにちわ」については読者から「こんにちわではないですか」といった質問が何度か寄せられました。「子どもが間違っしまいました」とお叱りもありました。

「こんにちわ」の「は」は、読む時は「わ」なのですが、書くときは「は」となります。この「は」は助詞なのです。だから正しくは「こんにちわ」。「こんにちわ」も広く定着して

いますが、今のところは誤用とされています。本紙の場合、親しみをもっていただくため、あえて「こんにちわ」と表記しています。

現代仮名遣い(昭和六十一年内閣告示)では、助詞の「は」は特定の語で、表記の慣習を尊重すべきものとされ「は」と書く、としています。あるいは、おそろくは、こんばんは、ではさようなら、などと同様に「こんにちわ」と書きます。実際の発音である「わ」を無視して「は」と書くのは「表記の慣習を尊重」したからです。発音は「わ」ですが、「我輩わ猫である」「本日わ晴天なり」とは書きません。

「こんにちわ」は、ひとつのまとまった言葉ではなく「今日、は、よいお天気だ」といった文章の後ろの部分が省略されてきた言葉なのです。だから助詞の意識がまだ残っていると考え「は」と書くことになりました。

しかし実際には、「こんにちわ」はひとつの言葉のように意識されており、「は」に助詞の意識などありません。そのため、「こんにちわ」の省略形からできた「コンチワ」「チワー」を「こんにちわ」「ちはー」と書くのは不自然と感ぜられるのです。「コンチワ」「チワー」「チワース」などは俗語ながら小説などにも登場し、事実上公認されています。「こんにちわ」が認められる日も、近いのではないのでしょうか。

高性能浄水器
レンタル継続中!!

安全でおいしい水を
●たっぷり使えて月々たったの

1,575円(税込)

月々1,575円で美味しく安全なお水を飲みませんか?
容量が大きいのでふんだんに調理水につかえます。
トリハロメタン(副産物)も強力に除去します。

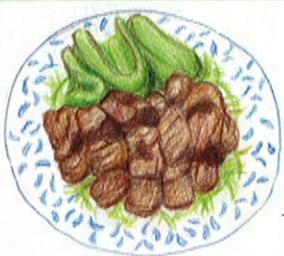


家庭の医学

一口メモ

風邪とインフルエンザ
医者はどう見分けるか

今では、インフルエンザは風邪とは異なりウイルスで起こる病気だと誰でも知っていますが、症状がほとんど変わらないため、インフルエンザの存在に気が付きませんでした。考古学の史料では紀元前4世紀に存在しました。インフルエンザウイルスが発見されたのは1933年。この発見により、風邪とは異なる病気であることが分かったものの、両者を見分ける方法は長い間ありませんでした。そのため医者は、経験と勘で見分けていました。インフルエンザと分かったところで、特別な治療法がないため、誤診もほとんど問題がありませんでした。バイオテクノロジーの発達で簡単にインフルエンザウイルスの有無が分かるようになりましたが、検査法ができたのは、つい最近です。



★豚肉玉ネギおろし焼き(2人分)★

- ① トンカツ用豚肉2枚を〈玉ネギおろし大さじ2、みりん大さじ2、しょう油大さじ2〉の中に30分以上つける
- ② 焼く。いっしょにピーマンを焼いてもよい。

簡単、うまい!

わが家の自慢料理

〈松山市 阪部安秀様〉

「わが家の自慢料理」にふるってご応募くださるよう、お願いします。採用された方には図書券をプレゼントします。